９．ＩＴ教材のブラッシュアップ

【ワーキンググループ４】

WG4 プロダクト報告

の部分をクリックするとジャンプします













プロダクトの報告

グループ４　北海道医療大学　豊下祥史

今回のワークショップでは、グループ４に与えられたテーマである「地域連携医療」の下、全身のわかる歯科医師の必要性とその社会背景の理解を目標として、歯学部 3 年生を対象に、「高齢者の身体的・心理的特長及び全身と口腔の関わり」及び「高齢者の基礎疾患と有病率、及び高頻度に見られる疾患内容」について学習するための教材について、検討を行った。

初めに、高齢者に関する動画を提示し、高齢者の特徴に目を向けさせることとした。

問 1-1　次のビデオを見て、高齢者の身体的・心理的特徴について箇条書きで述べなさい。(解答時間 5 分)
ビデオのシナリオ　:
出演者：年齢 80 歳　女性
受付から診療室のチェアに座るまでの一連の様子について以下の 2 パターンを記録する。
１．特に問題のないケース
２．歩行困難、脊柱湾曲症、難聴により介助が必要なケース

その後、高齢者の身体的・心理的特徴について、以下の内容の解説を行う。

高齢者の身体的特徴
1）循環機能
心臓のポンプ能力が低下する。活動能力も低下する。
2）神経機能
反応が鈍くなる。むせやすくなる。記憶力が低下する。
3）呼吸機能
肺・コンプライアンスの低下が起こる。
4）排泄機能
体液調節能力が低下する。
5）運動機能
活動性の低下が起こる。転びやすい。骨折がしやすい。
6）内分泌機能
ホメオスタシスが低下する。
7）免疫機能
抵抗力が低下する。疾病が重篤化しやすい。

高齢者の心理的特徴
１）老年期に生じる「何かの喪失」
(1) 心身の健康の喪失
心と体の健康の喪失→日常生活の自立の喪失→経済基盤
社会的つながりの喪失・生きる目的

(2) 経済的基盤の喪失
定年退職や家業からの引退
(3) 社会的つながりの喪失
配偶者や友人の喪失、仕事や社会的役割からの引退
(4) 生きる目的の喪失
家族や会社のために働く、立身出世など目的の喪失
２）脳の老化による精神機能の低下
脳神経細胞の減数と萎縮
脳の老化→記銘力や学習能力などの精神機能の一部低下
種々の疾患→脳の老化を加速
３）社会が老いを認めない
老醜：老いを認めない社会では“老い”＝“醜い”
家族の捉え方

次に、口腔と全身との関連を学ぶため、高齢者の口腔機能と全身機能に関する動画を提示し、その感想を記述させることとした。感想の記述後には、その動画の解説を行う予定である。

問 1-2　次のビデオを見て、感じたところを述べなさい。

ビデオ教材として 日本歯科医師会・8020 日歯 TV サイト内のコンテンツである「口腔と全身の関係」を活用する。

最後に、高齢者の基礎疾患についての設問と解説を行うこととした。

問 2　以下の高齢者の疾患を有病率の高い順に並べなさい。
高血圧　脊柱障害　歯肉炎・歯周疾患　糖尿病　悪性新生物　心疾患

解説 2　高齢者に多い疾患の有病率及びそれらの疾患の特徴
高齢者に多い疾患の有病率（平成 23 年度患者調査　厚生労働省より
単位：千人）

1 位：高血圧	697.5
2 位：脊柱障害	333.9
3 位：歯肉炎・歯周疾患	149.1
4 位：糖尿病	129.6
5 位：悪性新生物	103.5
6 位：心疾患	103.1

解説については、疾患の有病率や特徴に加えて、死因についても解説する。